

重点戦略

1

「攻め」と「守り」の定住促進

転入者向けの宅地供給(攻めの施策)と、住み慣れた地域での定住希望への対応(守りの施策)を推進します。

中心市街地としての都市機能を強化し、にぎわいを創出するため、名鉄国府宮駅周辺の再整備に取り組みます。

名古屋市近郊という地理的優位性を生かし、主要駅周辺で新たな住居系市街地を形成します。

地域コミュニティの維持を図るため、さまざまな手法を検討し、市街化調整区域における定住ニーズに応えます。

重点戦略

2

若い世代が安心して子育てできる環境整備

社会情勢や子育て世代のニーズを把握し、子育て環境を充実させます。

全ての子育て世帯を対象に、子ども・子育てに関する情報を提供し、気軽に相談できる体制を整えます。

企業内保育や小規模保育事業、認定こども園など、新たな制度やニーズに応じて、官民連携による保育体制を整えます。

保育士人材の確保に努め、保育の質を守ります。

重点戦略

3

多種多様な産業振興

大都市近郊の特性や強みを生かし、企業誘致や産業振興に取り組みます。

広域交通条件に恵まれた特性を生かした企業誘致を行います。地元企業のPRや事業承継、新規創業の支援に努めます。

農業従事者の確保に努め、農地集約や6次産業化など、農業経営の安定化・効率化に向けた活動を支援します。

重点戦略

4

次世代のための行政改革

人口減少、超高齢化、財政のひっ迫といった現実に向き合い、行政サービスを継続的に提供できるよう行政運営の改革に努めます。

将来のまちの姿を見据え、公共施設の再編に取り組みます。

地域による自主的なまちづくりの活性化に努め、稲沢市に対する市民の「誇り・愛着」の醸成を図ります。

行政施策

稲沢市ステージアッププラン

Inazawa City Stage Up Plan

将来の世代が稲沢市を愛し、暮らし続けるための新たなビジョン。

総合計画とは、稲沢市の行政運営全般について基本的な方針を示す市の最上位計画です。『第6次稲沢市総合計画』では、常に今よりも一つ高い次元を意識してまちづくりに取り組むために、『稲沢市ステージアッププラン』という名称を付けました。本プランは、2018(平成30)年度から2027年度までの10年間を計画期間とする新たなまちづくりの指針です。本プランを推進するにあたっては、「ステージアップ 稲沢」をスローガンとして掲げ、市民の皆様と新たな魅力ある稲沢市を目指します。

